

事務事業 No./名称	■サービス部門 環境-12 美化運動事業				ザイムスコード及び個別事業名		
	□支援部門				588	美化運動事業	
主管課	環境保全課		関連課		1000	美化運動事業	
分野名	生活環境						
目標 (目標値)	まちの美化を進め、良好な生活環境を保全向上させる。						
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考			
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)			
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯				
運営資源 状況	決算値	16,300千円	9,956千円				
	(国・県)	2,371千円					
	(負担金等)						
	(一般財源)	13,928千円	9,956千円				
	人員配置数	3.0人	3.5人				
	人件費	26,624千円	31,215千円				
	協働の パートナー	キープ鎌倉クリーン推進 会議					
事務事業 運営経費	総事業費	42,924千円	41,171千円				
	市民1人当 りの経費	243円	233円				
	対象者1人 当りの経費						
ベンチマー ク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名						
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) なし					
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・鎌倉、大船、北鎌倉の3カ所の路上喫煙禁止区域の周辺等でたばこの路上吸い殻の月例定点調査を実施。いずれの調査地点でもたばこの路上吸い殻数は減少傾向がみられる。最も多い月と比較するとほぼ2割程度までになっている。路上喫煙防止の啓発及び近隣住民の清掃活動の成果と考えられる。					
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・「鎌倉市路上喫煙の防止に関する条例」の施行により、路上喫煙禁止区域の指定が出来るようになったが、それに伴う指定喫煙場所の確保が難しい。 ・落書きのないまちづくりを推進するため市民活動団体との協働事業を開始したが、定期的な情報交換や役割分担について継続的な見直しが必要。					
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・路上喫煙禁止区域の指定に喫煙者の理解を得るためにも引き続き、指定喫煙場所の確保を検討。 ・落書きのないまちづくりを推進するため市民活動団体との協働事業について、定期的な情報交換や役割分担について継続的な見直しを検討。					
一次評価(課長評価)				二次評価(部長評価)			
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了							
評価結果	改善の必要性	まち美化や落書きのないまちづくりの市民・事業者等への啓発を推進し、その活動を支援していく。また、市内全域で路上喫煙防止の啓発を進めていく。		評価結果	改善の必要性	市民、事業者、滞在者等との協働によるまち美化を推進していくとともに、路上喫煙防止の啓発をさらに進めていく。	
B	有			B	有		
課長名		黒岩弘之		部名・部長名		環境部 相澤 千香子	